Rotary Club of TAKADA Report

国際ロータリー第2560地区 スローガン

ロータリーはステージ・ みんなが輝く!

高田ロータリークラブ 会長方針

ロータリーに共に参加し、 共に学び、共に楽しもう



2024-2025年度

国際ロータリー会長 ステファニーA.アーチック

第2560地区ガバナー 📴

南雲博文

高田ロータリークラブ会長 飯塚宏佳

幹事 細野仁

広報・会報・雑誌委員会: 佐藤勝則 箕輪賢一 倉田 亮

第7回例会 8月30日(金)

No.7

会是袋箩

●飯塚宏佳



こんにちは。先週の南雲博文ガバナーをお迎えしての公式訪問、皆様ご協力ありがとうございました。特に、SAAの髙橋さんにおかれましては、大変ご苦労様でした。新井妙高RC、高田東RCとのロータリアン同士の良い交流の場になりましたでしょうか?

さて例会が始まる前に南雲ガバナー、和泉ガバナー補佐、阿部地区幹事、高野地区副幹事内山徹地区大会副実行委員長を囲んでの 3 クラブ合同の懇談会がおこなわれました。高田 RC は衛星クラブに関しての取り組みを、新井妙高 RC は会員増強とクラブターゲットの話を、高田東 RC は IA と青少年交換を中心に身の丈に合った顔の見える活動を行っているとガバナーにお伝えしました。当初は各クラブ毎の予定だったものを 3 クラブ合同へと変更して行われたのですが、和泉ガバナー補佐から満遍なく話を振っていただき、各々思っていることをガバナーにシッカリお伝え出来たのではないかと思います。また阿部地区幹事、高野地区副幹事からも貴重なご意見

を頂けて、とても有意義な懇談会になりました。

例会も3クラブの皆様のご協力のおかげをもちまして、スムーズに進行できました。あらためて大変ありがとうございました。

さて前々回の挨拶の時は宮崎沖で発生した地震の話をしましたが、今回は台風がやってきております。最大級とも言われ既に鹿児島を始めとする九州地方や東海地方また岩手でも災害が発生しております。進路の予測が大変難しいようです。その都度情報を聞いて、安全にお過ごしください。

本日の卓話は 高田世界館館長 上野迪音様です。ご清聴よろしくお願いします。



出席報告

出席率 98.04%

臨時総会

8月30日(金)規定となる総会の成立を確認後、飯塚会長が議長となり臨時総会を開催しました。「2023-2024 年度決算報告」について満場拍手にて承認されました。

メイクアップ

高坂光一君:8/22 糸魚川 RC・糸魚川中央 RC

飯塚宏佳君・髙坂光一君:8/28 直江津 RAC 親睦例会

ニコニコ BOX 紹介

山田年度役員理事一同:決算のご承認をいただきありがとう

ございました。感謝申し上げニコニコします。

親睦委員会・出席ニコニコ BOX 委員会:納涼会ミニ抽選会にご協力感謝。

大島 誠君:今年 元日に発生した能登半島地震により、大きく被災した宇喜世の改修工事の為のクラウドファンディングを皆様にお願いして参りました。お蔭様で8月29日現在814万円のご寄付をいただき、目標の800万円を超えることが出来ました。ご協力いただきました皆様に心から感謝申し上げます。クラウドファンディングは明日まで受け付けております。「気持ちは有ったのに忘れていた」という方 最後のご支援を重ねてお願いいたします。

霜村 浩君:今月、還暦を迎えました。これからもいろいろ チャレンジしていきます。

原野聖子君:霜村さんと約束したのでニコニコします。お誕 生日おめでとうございます。私も先週1コ年をとりました。

セレモニー

2024-25 年南雲年度委嘱状:

ロータリー財団委員会資金管理委員会委員 髙坂光一君 ライラ委員会委員 細野 仁君

第 42 回米山功労クラブ表彰

米山功労者表彰:中田 正君・加藤公一君・齋藤俊幸君ポールハリスフェロー表彰:髙橋俊宣君・髙橋孫左衛門君

委員会報告

2023-24 年度出席ニコニコ BOX 委員会: 出席率 100%表彰

幹事報告

配布物:週報No.4.5.6、2023-24年度決算書、ロータリー日本財団寄付金領収書、2025-26年度交換留学生募集要項回覧物:新会員推薦カード、米山年度ガバナー月信最終号、米山梅吉記念館館報・賛助会入会のお願い・秋季例祭参加申込書

卓話: 日本最古級の映画館 高田世界館 新たな街の文化と、その定着に向けて

高田世界館 館長 上野迪音様



高田世界館は明治 44 年築の建物で、現役で営業しているとしては日本最古級と言われております。近年に入ってはメディアに取り上げられることも増え、また上越地域における観光施設としても注目を集めつつあり、単なる文化施設に止まらない展開を見せております。

高田といえば桜が有名で、市民にとっても心の拠り所になっているかと思います。また上越地域に広げてみれば上杉謙信という存在もあり、それらは街のアイデンティティであり且つ観光資源にもなっているわけであります。

一方で、最近になって町家など古さを活かした街並みなど、先に挙げたような従来のコンテンツに頼らない観光資源も掘り起こされつつあり、例えばそれは高田世界館の他に料亭宇喜世や旧師団長官舎などが挙げられるかと思いますが、県外(それどころか海外)の方々にとっても価値あるものとして磨かれつつあります。

他にも高田では町家を改装した新しいお店が若い世代を中心に興っており、

高田の街の文化が新たな局面に入ったようにも見えます。

観桜会と違い、それらは決して何万人も集めるような規模の施設ではありませんが、一つ一つのつながりや人との出会いがうまく連関しつつある状況です。

そうした街全体の流れの中にあって、単なる観客数の多寡だけでなく様々な企画やイベントを呼び込む高田世界館が街のキーステーションとして一定の価値を持ちえ、今後もその存続が望まれるところです。前オーナーから引き継いで15年。ようやくここにきて流れが見えてきました。

街の新たな潮流を含め、引き続き注視していただけたら幸いです。

※高田世界館では現在上映設備の更新を図るべくクラウドファンディングを実施しております(目標金額 1000 万円)。

ご支援のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。













